

from  
from

# 法の書

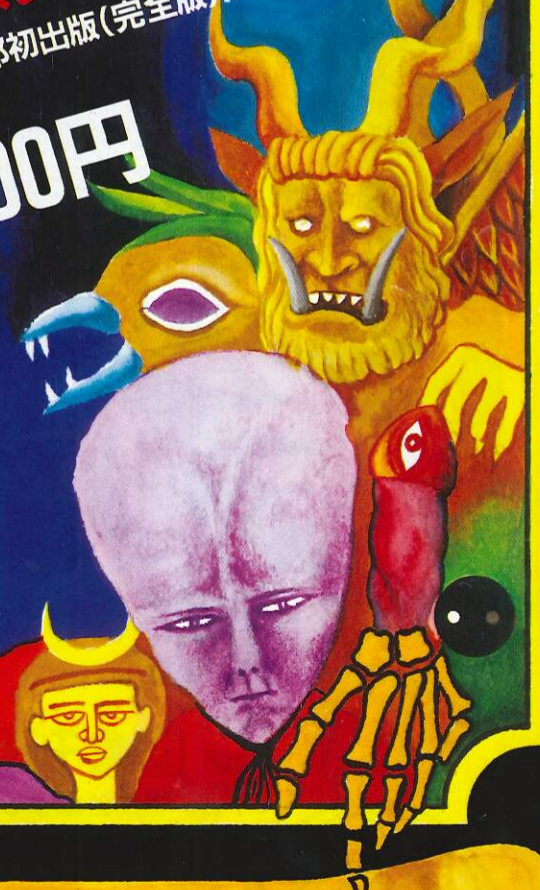
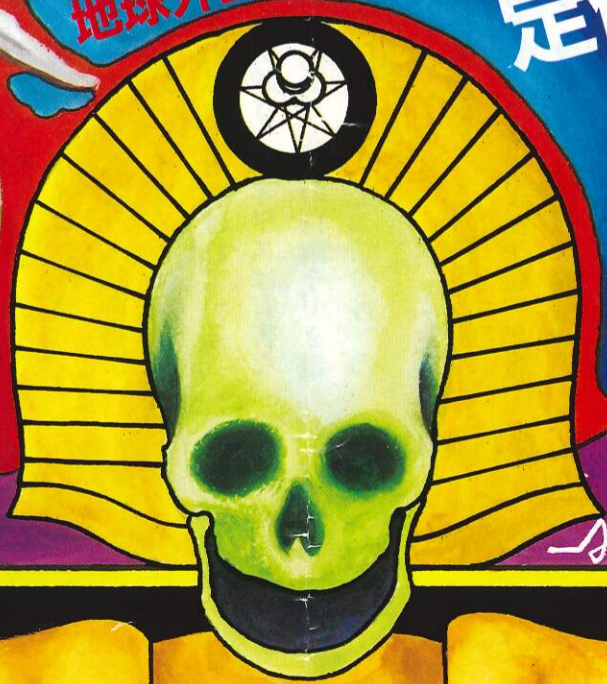
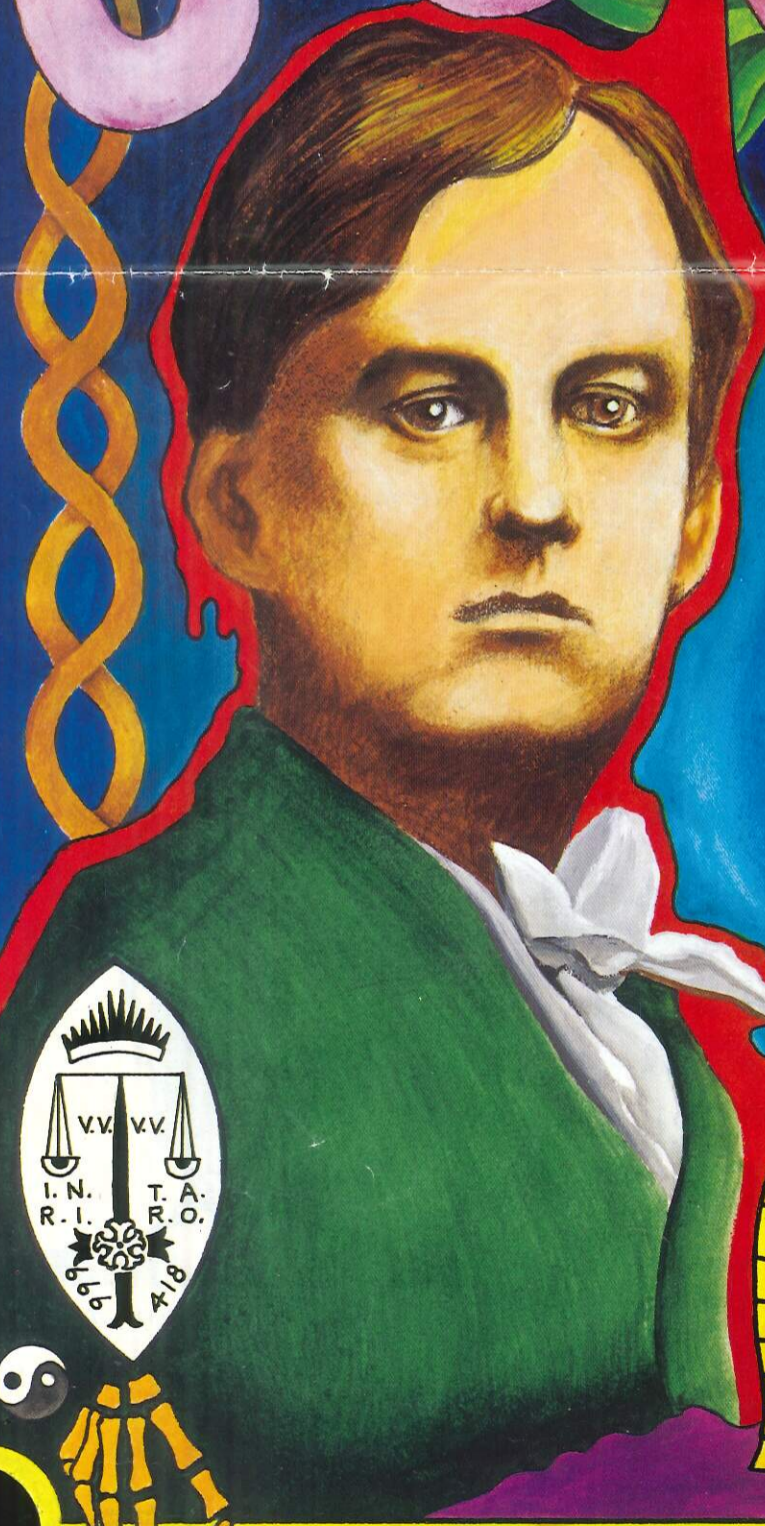
アレスター・クロウリー 解題  
聖守護天使エイワズ 述  
江口之隆・亀井勝行解説

LIBER AL vel LEGIS

**超緊急出版!**—チャド戦争・大韓航空機事故など危機を孕む  
この世界情勢は(世界大戦争)の前兆なのか!?  
(地球滅亡)の兇兆か!?

第一次大戦・日華事変・第二次大戦・第三次中東戦争・印パ戦争・ベトナム戦争  
出版するたびに全世界が大震動した禁断の書!! 悪魔の聖書が、新時代を  
告げる福音書なのか? 20世紀最大の魔術師、アレスター・クロウリーが、  
地球外生命体より受け取った**霊界文書**、本邦初出版(完全版)!!

定価 1800円



(株)国書刊行会

〒170 豊島区巢鴨3-5-18  
Tel.03-917-8287

書店に急ぎ御注文下さい!!



# 法の書



LIBER AL vel LEGIS 'Book of the Law'

全世界を畏怖震撼させ続けた今世紀最大の魔法書、ここに本邦初出版!!

アレクスター・クロウリー(一八七五—一九四七)は、西洋近代オカルティズムの改革者として知られている。偉大なる師祖エリファス・レヴィの生まれ変わりを自称した彼は、英国ワーウィックシャー・リーミントン・スパンの富裕なビル業者の家に生まれた。幼ない頃より神童の誉高く、ケンブリッジ大学トリニティーカレッジを卒業。エリート・コースを約束されながら、一八九八年魔法結社「黄金の夜明け」団に加入した。同教団のブレイン、マダレー・メイザースに師事、のちにメイザースと袂を分かつこととなる。

一九〇七年、自身の魔法結社A.A.(アストルム・アンゲンティウム—銀の星)を設立してヨガと西洋魔術の合一を研究した。一九一〇年には中世より続いているドイツの秘密結社O.T.O.(東方テンブル騎士団)と接触、O.T.O.の要請により英国支部M.M.M.の首領となった。

一九一五—一九一九年にかけて渡米。第一次大戦中は反英国的プロパガンダを書いたため「祖国を裏切った者」との汚名を着せられた。のちにシシリー島に移りテレマ僧院を建立。性風俗を乱すとの罪状で、ムッソリーニに拉まれイタリア追放処分となる。

デニス・ホイットリーの『黒魔団』、サマセット・モームの『魔術師』、アイラ・レヴィンの『ローズマリーの赤ちゃん』、映画『オーメン』など多くのエンターテインメントの黒魔術師のモデルとなった。



若き日のアレクスター・クロウリー

Had the master taken of him  
The wisdom of the company of him  
Every man and every woman is a star  
Every woman is infinite. There is no difference  
Help me, a warrior lord of flesh, in my  
unending hope the children of men  
Be thou Hadit, my secret center, my  
heart my tongue.  
Behold! it is revealed by thine  
ministry of Her pan-herm  
Revelation is in the flesh, all the flesh is  
the flesh  
Worship them the flesh, and behold my  
light had me go.

『法の書』のオリジナル肉筆原稿

英国の夕刊紙はこぞつて、クロウリーを「世界最大悪人」「悪魔主義者」「食人鬼」と罵ったのである。一方、オカルティストからは「今世紀最大の隠秘学者」「新時代の預言者」「大詩人」と称された。

『アメリカの悲劇』のドレイザーと文学論争をし、ノーベル賞詩人W.B.イェイツを手玉にとり、登山家としてK2に挑戦し、孫文を笑いにした怪物——クロウリー。ビートルズのLPアルバム『ジャケツト』に顔写真が使用され、ミック・ジャガーやデビッド・ボウイ、ジミー・ペイジ、グラハム・ボンド、ファクトリックス、ハンティング・ロッジなどがこぞつて曲を捧げる哲学者——クロウリー。

チャールズ・マンソンは女優シャロン・テートの心臓をクロウリーに捧げ、ヒンクリーはレーガン大統領の血をクロウリーのために路上に流した。サムの子はクロウリーの言葉に導かれて連続殺人を犯し、ジョン・レノンの命はクロウリーのために消えていったのである。

クロウリーは声高に言う。「儀式には血が必要である」——歴史のなかで多くの血が彼のために捧げられてきた。そして、いま、さらに多くの血が流されようとしている。

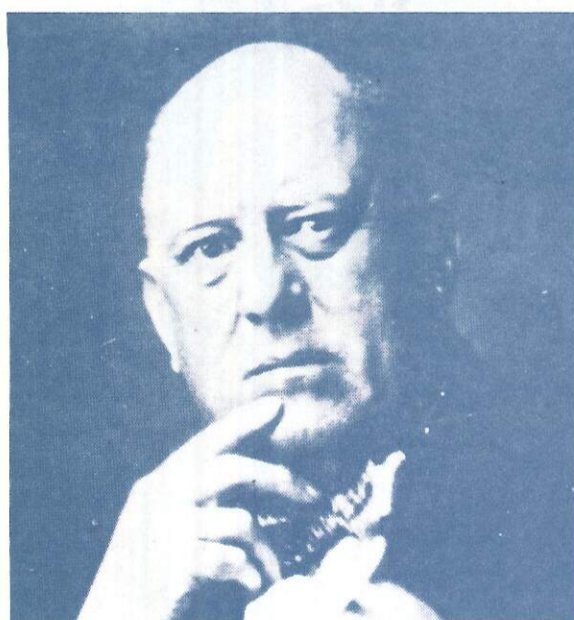
『法の書』——一九〇四年、カイロで地球外生命体(E.T.)よりテレパシー通信によって受信された本書は、その霊的パワーの強大さのゆえに永らく禁断の魔道書として慎重に扱われてきた。それというのも本書を完全版で出版すると、九カ月後に、大戦争ないしは大災害が地球を見舞うというのである。

- 一九〇四年……『法の書』受信 日露戦争
- 一九一二年……初版発行 バルカン戦争
- 一九一三年……再版発行 第一次大戦
- 一九二八年……三版発行 ウォール街大恐慌



クロウリーの自画像

- 一九三七年……四版発行 日華事変
  - 一九三八年……ロンドン版 第二次大戦
  - 一九四三年……(神々の都市)版 Dデイ
  - 一九六七年……海賊版発行 第三次中東戦争
  - 一九七一年……海賊版発行 印パ戦争
  - 一九七四年……フランス版 サイゴン陥落
- クロウリーは聖守護天使エイワスより『法の書』を授かったと説明しているが、エイワスとは別名、シャイタン(サタン)またはセトと呼ばれている。クロウリーと対立する魔術師は「エイワスは有害な知性である。人間の敵であり、人類の自滅を引き起こすように慎重に計算されている」と『法の書』の危険性を主張している。
- 出版したならば戦争が起こる? この科学万能の時代にそんなことが有り得ようか。半信半疑で出版作業をはじめた頃より、世界情勢は奇怪な緊張が生じてきた。チャド戦争・大韓航空機事件……これらは本書の霊力のためか? 本書が出版された九カ月後には一体、いかなる災害が全世界を見舞うのか?



晩年の「食人鬼」クロウリー

発行所

国書刊行会

〒170 豊島区巢鴨3-5-18  
TEL.03(917)8287代表

◆特約店

